

第82回運輸政策セミナー 開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所におきましては、「第82回運輸政策セミナー」を開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようご案内申し上げます。また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知頂ければ幸いです。

ご参加に当たりましては、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込み頂きますようお願い申し上げます。

敬具

記

○第82回運輸政策セミナー

日 時：2022年6月13日（月）15：00～17：00

会 場：オンライン配信（Zoom ウェビナー）および運輸総合研究所2階会議室

テーマ：「データ社会における気象データの可能性」

～安全・安心を高め、ビジネス・生活を変革する気象データ～

1. 基調講演

テーマ：「データ社会における気象情報・データの意義と利活用の可能性」

講 師：越塚 登 東京大学大学院情報学環 学際情報学府 教授

2. 講演

テーマ：「気象データの最新技術と更なる進化」

講 師：辻本 浩史 一般財団法人日本気象協会 常務理事 事業本部長

テーマ：「最新の情報通信技術による防災の高度化

～デジタルツインによる災害時の避難行動最適化の可能性～

講 師：大石 裕介 富士通株式会社研究本部 主席研究員

東北大学 特任教授(客員)

テーマ：「気象データが変えるこれからのビジネスとマーケティング」

講 師：泉 浩人 株式会社ルグラン 代表取締役共同 CEO

3. 座談・質疑応答

進 行：越塚 登 東京大学大学院情報学環 教授

4. 全体講評・閉会挨拶

山内 弘隆 一般財団法人運輸総合研究所 所長

5. 概要

近年、情報通信技術の進化に伴い、社会・経済活動の様々な分野で多くのデータが集積され、活用されるようになってきている。

気象の分野では観測技術や予測精度の向上等に伴いデータの高度化・大容量化が進展し、気象データを社会・経済活動のデータと関連づけて総合的に分析することにより、防災面のみならず、幅広い産業分野や人々の生活において、新たな価値を生み出す取り組みが行われている。

本セミナーでは、データ社会の状況と方向性、気象データの意義等を踏まえ、気象技術、情報通信技術、マーケティング等の観点から、人々の安全・安心を高め、ビジネスや生活に変革をもたらす気象データの有する可能性について展望を得たい。

● 基調講演：データ社会における気象情報・データの意義と利活用の可能性

気象データは社会や生活のあらゆる面の基盤である。現在気象庁等、多くの組織が気象データの利活用を進めているが、これまでは気象条件が極度な影響を与える分野に限られていた。現在では気象データはあらゆる経済活動に影響することが分かってきており、さまざまなビジネス分野での利活用が期待されている。本講演では、今後のデジタル社会における気象データの意義を踏まえ、いくつかの取り組みを紹介するとともに、気候変動への対応も含め、今後の可能性を紹介する。

● 講演：気象データの最新技術と更なる進化

気象データは、日常の天気予報として生活に深く関わるだけではなく、生命・インフラを守る防災情報として、また、経済活動を支える情報として、益々その重要性を増しています。今回の講演では、まず、天気予報の大まかな仕組みを説明した後、普段テレビやスマホで目にする気象情報の裏に隠された最新技術を紹介します。また、気象データはグローバルな情報の代表です。その一例として、世界の気象機関のモデルをブレンドすることで得られる高精度予測の到達点と次なる課題を示します。

● 講演：最新の情報通信技術による防災の高度化 ～デジタルツインによる災害時の避難行動最適化の可能性～

気象データ等の災害予測データと、人流や交通流に関する人工知能技術等を用いたリアルタイム観測データを基にデジタル空間上に現状を再現し、複合的なデータを同時に解析することで適切な避難誘導施策をリアルタイムに算出するシステムの可能性について議論する。また、データ社会を支える最新の情報通信技術の状況についても概観する。

● 講演：気象データが変えるこれからのビジネスとマーケティング

これまででも、運輸・交通や農業・防災といった領域では、様々な目的・用途で気象データが活用されてきましたが、本講演では、気象データを「サービス」に組み入れる Weather as a Service (WaaS) = 「サービスとしての気象データ」という考え方や、ビジネス・マーケティング領域における活用の広がり・可能性について、国内外の事例も交えながら解説します。

6. 講師のご紹介

●基調講演:「データ社会における気象情報・データの意義と利活用の可能性」

講師: 越塚 登 東京大学大学院情報学環 学際情報学府 教授



(ご経歴)

1994年 東京大学大学院理学系研究科情報科学専攻博士課程修了、博士(理学)。

東京工業大学助手、東京大学大学院人文社会系研究科 助教授、同情報基盤センター 助教授、大学院情報学環 助教授を経て、2009年より現職。2018年同副学環長、2019年同学環長。

2002年より YRP ユビキタス ネットワーキング研究所 副所長を兼務。その他、中国科学院計算科学研究所客員教授、一般社団法人オープン&ビッグデータ活用 地方創生推進機構理事、気象ビジネス推進コンソーシアム会長、内閣府 国家戦略特区諮問会議の有識者議員、高知県 IoT 推進アドバイザーなどを務める。専門は計算機科学。

ユビキタスコンピューティングの研究を通じて、場所情報サービス、食品・医薬品・工業製品等のトレーサビリティ、特に、IoT(モノのインターネット)やオープンデータ、スマートビル、スマートシティなどの研究に取り組んでいる。

●講演①:「気象データの最新技術と更なる進化」

講師: 辻本 浩史 一般財団法人日本気象協会 常務理事 事業本部長

(ご経歴)

1984年 京都大学大学院 工学研究科 修士課程 修了
博士(工学)、気象予報士

2011年 一般財団法人日本気象協会 執行役員
事業本部 防災事業部 部長

2015年 京都大学防災研究所 気象・水象災害部門
気象水文リスク研究分野特定教授

2017年 一般財団法人日本気象協会 執行役員、事業本部 副本部長

2018年 同 執行役員、最高情報責任者

2019年 同 業務執行理事 常務理事、事業本部 本部長

(受賞)

2015年度 砂防学会技術賞

(代表的な著書(共著))

砂防学 丸谷知己(編) 朝倉出版 2019年



● 講演②：「最新の情報通信技術による防災の高度化 ～デジタルツインによる災害時の避難行動最適化の可能性～」



講師：大石 裕介 富士通株式会社研究本部 主席研究員
東北大学 特任教授(客員)

(ご経歴)

博士(理学) (2007年)

2007年 富士通株式会社入社後、スーパーコンピュータを用いたAIやシミュレーションに関する研究開発に従事。

2010-2014年に欧州富士通研究所(ロンドン)にて現地大学と大規模数値シミュレーションの共同研究を推進。インペリアル・カレッジ・ロンドンの Visiting Lecturer (2010-2011年)、オーストラリア国立大学の Visiting Fellow (2012年)。2017年より、東北大学災害科学国際研究所、東京大学地震研究所、川崎市との産学官連携によるICTを用いた減災研究プロジェクトを開始。科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞(科学技術振興部門)受賞(2021年)。

2014年より東北大学災害科学国際研究所の特任准教授(客員)、2022年より同特任教授(客員)を兼務。

2021年よりJST未来社会創造事業「デジタル防災コミュニティの市民参加型研究」の研究開発代表者。

● 講演③：「気象データが変えるこれからのビジネスとマーケティング」

講師：泉 浩人 株式会社ルグラン 代表取締役共同 CEO

(ご経歴)

慶應義塾大学経済学部卒、米国ジョージタウン大学MBA修了。三井住友銀行、フォード自動車等を経て、ドイツ出版大手ベルテルスマン社のネット通販事業の創設に従事した後、2002年よりオーバークチュア(現ヤフー)取締役として同社の日本進出に参画し、検索連動型広告市場の創設に携わる。

2006年、株式会社ルグランを設立。

2008年12月『Yahoo! Googleの検索連動型広告を最大限に活かすSEM成功の法則』(ソーテック社)を上梓。

2009年10月『クリック!「指先」が引き寄せるメガ・チャンス』(イースト・プレス)を監訳。アドテック東京/関西・CNET・気象庁等のイベントでも多数講演を行うほか、松山大学(愛媛県)や、シーナカリンウィロート大学(タイ)などで、サービスデザインやデジタルマーケティングに関する講座を担当。

ビッグデータを活用したAKB48選抜総選挙予測が注目を浴び、2014年日本広告学会クリエイティブフォーラムで最優秀賞を受賞。



参加費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/semi220613>

(申込期限：6月9日(木)まで)

※お申し込み頂いた方には、6月10日(金) 午後に視聴用 URL をご送付いたします。



運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。

Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION

お問合せ：一般財団法人運輸総合研究所（担当：新倉、矢内）

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-18-19(UD 神谷町ビル)

TEL :03-5470-8415 FAX:03-5470-8401

E-mail: collo@jttri.or.jp

HP: <https://www.jttri.or.jp/>